



XC 90

QUICK GUIDE

VÄLKOMMEN!

本書(クイックガイド)には、ボルボ車に搭載されているさまざまな機能の概略が記載されています。各機能の詳しい情報は、センターディスプレイ、アプリおよびウェブで利用できるオーナーズマニュアルに収録されています。



車両のセンターディスプレイ

オーナーズマニュアルはセンターディスプレイのトップビューから利用できます。



モバイルアプリ

オーナーズマニュアルはスマートフォンおよびタブレット用アプリ (Volvo Manual) の形で用意されています。このアプリには一部の機能のビデオチュートリアルも収録されています。



ボルボのサポートサイト

ボルボ・カーズサポートサイト (support.volvocars.com) では、マニュアルやビデオチュートリアルをはじめ、ボルボ車および車両の保有に関して役立つ情報をご提供しています。



印刷版のマニュアル

グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報を収録した SUPPLEMENT TO THE OWNER'S MANUAL (オーナーズマニュアル付録冊子) が収納されています。この付録冊子には、重要情報や実用的な情報もまとめられています。印刷版のオーナーズマニュアルおよび関連付録は別途注文することができます。

内容

01. ボルボ車を理解する

ボルボ車の取り扱いに際して最初に知っておくべき情報が記載されており、インテリア/エクステリアについて、およびセンターディスプレイの概要を把握することができます。

02. インテリアおよび接続部

シート設定、ステアリングリモコンおよびレバー、車内エアコンディショナー、インターネット接続、Bluetooth 接続などに関する情報が記載されています。

03. センターディスプレイのビュー

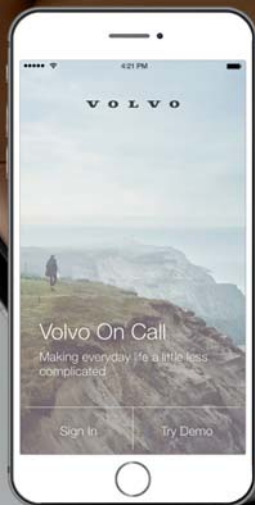
センターディスプレイのさまざまなメインビューに関する情報が記載されています。メインビューを使用すると、車両の多くの機能を操作できます。

04. スマートドライビング

車両に搭載されているさまざまな運転支援機能と、さらにクリーンな運転を楽しむためのいくつかのヒントが記載されています。

05. 特別なメッセージ

必ずお読みいただく必要のある警告、重要情報、注意事項



はじめに

ボルボ車を最良の方法で使い始めるために、知っておくと便利な機能、用語およびヒントがいくつかあります。

Volvo ID

Volvo ID はオンラインでさまざまなサービスを利用するときに使用する個人用 ID です¹。My Volvo（お客様とお客様の車両のパーソナルウェブ 사이트）、地図サービス、コネクテッド・サービス予約オプションなどがその例です。Volvo ID は、My Volvo で作成する方法と車両で直接作成する方法があります。

Sensus

Sensus は車両の知的インターフェースで、エンターテインメント、インターネット接続、ナビゲーション*および情報サービスに関連する車載ソリューションがすべて組み込まれています。お客様と車両と外部の世界をつなぎ、コミュニケーションを可能にするのが Sensus です。

運転者プロフィール

車内で行う多くの設定は運転者の好みに応じて調整することができ、運転者プロフィール(複数可)に保存することができます。各キーは1つの運転者プロフィールに関連付けることができます。

運転者プロフィールを有効にして設定するには、センターディスプレイのトップビューで **設定 → システム → ドライバープロフィール** の順に選択します。

¹ サービスの種類は車両の構成および市場により異なります。



エクステリア概要


- ① **エンジンオイルレベルおよびタイヤ空気圧の点検**は、センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリから行われます。ここでは、ステータスメッセージおよびコネクテッド・サービス予約*を確認することもできます。

- ② **ドアミラー**は、リバースギヤを選択したときに自動的に*下向きに傾き、駐車するときなどに道路の端を見えやすくします。ドアミラーは車両のロック時/ロック解除時に自動的に格納/展開します。

- ③ **キーレスロック/ロック解除***では、リモートコントロールキーをポケットなどに入れて携帯しているだけで、車両のロックやロック解除を行うことができます。リモートコントロールキーは車両から約 1 m の範囲内にある必要があります。

ドアハンドルをつかむか、テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押して、車両をロック解除します。車両をロックするときには、いずれかのドアハンドルの感応式ロックスイッチを軽く押します。両方の感圧面に同時に触れないようにしてください。

- ④ **パノラマルーフ***は2つのガラスセクションに分かれています。フロントセクションは後端部が垂直方向に開きます。パノラマルーフおよびブラインドの操作には、ヘッドライニングに装備されているコントロールボタンを使用します。





- ⑤ **パワーテールゲート***は、テールゲートのハンドル操作、またはリアバンパーの左下で前方にゆっくりキックをするような動作*で開けることができます。テールゲートの下端にある  を使用すると、テールゲートを閉じてロックすることができます。キックをするような動作でテールゲートを閉じることもできます。

ガレージでテールゲートが天井に当たることなどを防止するために、最高位置を設定することができます。



ロック/ロック解除

リモートコントロールキー

-  1 回短く押すと、ドアおよびテールゲートがロックされ、アラーム*が設定されます。長押しをすると、パノラマルーフ*とすべてのパワーウィンドが同時に閉まります。
-  1 回短く押すと、ドアおよびテールゲートがロック解除され、アラームが解除されます。長押しすると、すべてのパワーウィンドが同時に開きます。
-  1 回短く押すと、テールゲートのみのロックとアラームが解除されます。長押しすると、パワーテールゲート*が開閉します。
-  パニック機能は方向指示器およびホーンを作動させて、必要時に注意を引き付けます。3 秒間長押しすると、作動します。

プライベートロック



プライベートロックはテールゲートおよびグローブボックスをロックする機能で、車両を点検整備で預けるときなどに役立ちます。

－ センターディスプレイの機能ビューで **プライベートロック** をタップすると、機能がオン/オフになります。

オンまたはオフにするためのポップアップウィンドウが表示されます。ロックを使用するたびに、4 桁のコードが選択されます。初めて機能を使用する際は、追加のセキュリティコードを選択する必要があります。



3

2

1

7

8

4

5

6

インテリア概要

- ① **センターディスプレイ**は、車両の主要機能(エアコンディショナー、運転者サポートシステム、車載アプリなど)の多くの操作に使用されます。
- ② **ドライバーディスプレイ**には、速度、エンジン回転数、ナビゲーション*、アクティブ運転者サポートなど運転に関連する情報のほとんどが表示されます。ドライバーディスプレイに表示される情報は、運転者自身がセンターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → メーター** から選択できます。
- ③ **ヘッドアップディスプレイ***は車両のドライバーディスプレイを補充し、ウィンドスクリーンに情報を映します。ヘッドアップディスプレイを起動するには、センターディスプレイの機能ビューを使用します。
- ④ **車両を始動する**には、中央(左右のシートの間)にあるスタートノブを使用します。オートマチックトランスミッション車の場合、ギヤポジション **N** または **N** を選択する必要があります。マニュアルトランスミッション車の場合、クラッチペダルを踏み込む必要があります。スタートノブを回して手を離すとイグニッション位置 **I** になります。ブレーキペダルを踏み込み、そのままの状態スタートノブを回すと車両が始動します。スタートノブを **STOP** まで回すと車両がオフになります。オートマチックトランスミッション車の場合、ギヤポジション **P** または **N** を選択する必要があります。
- ⑤ **ドライブモード***は、中央(左右のシートの間)にあるコントロールを使用して設定します。コントロールを押して、センターディスプレイで **Comfort、Off Road、Eco、Dynamic、Individual** のいずれかを選択します。ホイールを押して確定します。Individual を使用すると、好みの走行特性に応じてドライブモードを調節することができます。オンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car** の順に選択します。
- ⑥ **パーキングブレーキ**は、**(P)** コントロールを引き上げたときに作動します。作動に伴ってドライバーディスプレイのシンボルが点灯します。手動で解除するには、ブレーキペダルを踏み込んだ状態でコントロールを押し下げます。Auto Hold **(A)** を使用すると、赤信号などで

停車したときに制動力を維持したままブレーキペダルから足を離すことができます。

自動洗車機を使用するときには、必ず Auto Hold および **パーキングブレーキを自動で有効化** を両方とも解除する必要があります。この設定は、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → 電動パーキングブレーキ** の順に選択して行います。次に、ギヤポジション **N** を選択し、スタートノブを **STOP** まで回して4秒以上保持します。

- ⑦ **助手席側エアバッグのスイッチ***は、助手席側のダッシュボードの端にあり、助手席ドアを開けて操作します。助手席側エアバッグ機能をオン/オフにするには、スイッチを外側に引き出して **ON/OFF** に回します。
- ⑧ **グローブボックス**は **🔓** ボタンを使用して開けます。



センターディスプレイ

センターディスプレイでは、設定とほとんどの機能の操作を行うことができます。センターディスプレイには、ホームビュー、機能ビュー、アプリビューの3つのメインビューがあり、右/左にスワイプするとビューを切り替えることができます。さらに、ディスプレイの上部を下方方向にドラッグすることでアクセスできるトップビューもあります。

センターディスプレイの外観を変更するには、トップビューの **設定 → My Car → メーター** でテーマを選択します。ここでは、背景の明るさを選択することもできます。

メニューを戻るには、ディスプレイの下にあるホームボタンを短く押します。長押しすると、ホームビューに移動します。

センターディスプレイを清掃するときには、ディスプレイの下にあるホームボタンを長押ししてタッチ機能をロックしてください。ホームボタンを短く押すと、ディスプレイは再度有効になります。

ステータスバーはディスプレイの上部にあり、車内のアクティビティを表示します。ネットワーク情報および接続情報が左側に、メディア関連情報と時計が右側に表示されます。

クライメート列は画面の下部にあり、対応するアイコンをタップすることにより、温度、シートコンフォートおよびファン速度を設定できます。



1. コントロールを回すと、センターディスプレイのシート設定が起動します。
2. マルチファンクションコントロールを回して、センターディスプレイで目的の機能を選択します。
3. マルチファンクションコントロールの上/下/前/後部を押し込んで、設定を変更します。

設定の保存

1. シート、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイ*をお好みの位置に設定して、**M** ボタンを押します。ボタンの表示灯が点灯します。
2. 3 秒以内にメモリーボタン **1**、**2** または **3** を押します。確認音が鳴り、**M** ボタンの表示灯が消灯します。

保存したシート設定を使用するには、選択したメモリーボタンを押します。

フロントパワーシート*

シート位置やランバーサポート*などの調節には、シートの外側にあるコントロールを使用します。シート位置の変化が把握しやすいように一方のコントロールはシートのような形になっています。もう一方のコントロールはランバーサポート、マッサージ*などの調節に使用します。

シート形コントロール

シートクッションの調節またはシート全体の移動には、下側のコントロールボタンを使用します。バックレストの角度調節には、リアコントロールボタンを使用します。

マルチファンクションコントロール

マッサージ*、サイドサポート*、ランバーサポート*、シートクッションエクステンションの設定は、マルチファンクションコントロール*とリンクしています。

リアシートのバックレストを倒す

リアシートのバックレストを倒す前に、場合によっては、フロントおよびリアシートを調節する必要があります。

2列目のセンターシート

1. バックレストとヘッドレストの間にあるボタンを押して、手動でヘッドレストを倒します。同時に、ヘッドレストを押し下げます。
2. センターシートのベルト **①** を前方に引き上げながら、シートを折りたたみます。

2列目のドア側シート

- － ドア側シートの側面にあるハンドル **②** を引き上げて、シートを倒します。ヘッドレストは自動的に折りたたまれます。

3列目シート*

- － バックレストの上部にあるハンドルを前方に引き上げます。バックレストを前方に折りたたみます。ヘッドレストは自動的に折りたたまれます。

2列目シートを持ち上げながら、ベルト/ハンドルを前方に引き上げる必要があります。インヒビターがロックされるまでバックレストを起こしません。ヘッドレストは手動で起こします。

3列目シートに乗り込む場合、中央列のシート **③** の上部にあるハンドルを前方に引き上げます。バックレストを倒して、シート全体を前方にスライドさせます。







ステアリングホイール

ステアリングホイールの下にあるレバーを手前に引く/奥に押す²と、ステアリングホイールの高さや前後位置を調節することができます。好みの位置に調節して、レバーを元のロック位置に戻してください。

左側のステアリングリモコン

ドライバーディスプレイで運転者サポートを選択するには、ステアリングホイール左側のステアリングリモコンの矢印を使用します。シンボルが白色の場合は、機能がオンになっています。灰色は機能がオフまたはスタンバイモードであることを意味します。

ディスプレイシンボルの意味：

-  速度リミッター*
-  クルーズコントロール

² 市場により異なります。

 アダプティブクルーズコントロール*


 Pilot Assist*


 を押すと、選択した機能が起動または停止します。


○+ / — を短く押すと、設定速度が 5 km/h 単位で増加/減少し、長押しすると、1 km/h 単位で増加/減少します。= / ≡ は、アダプティブクルーズコントロールおよび Pilot Assist の使用中に先行車との距離を短く/長くします。選択した機能を設定速度に戻すときも、○+ を 1 回押しします。

右側のステアリングリモコン



ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用すると、ドライバーディスプレイを操作することができます。

 ドライバーディスプレイのアプリメニューを開いたり閉じたりできます。ここから、トリップコンピューター、メディアプレーヤー、電話、ナビゲーションを操作することができます。

 左右の矢印を押して、使用可能なさまざまなアプリ間を移動します。

 オプションを選択、選択解除または確定します(トリップコンピューターのメニューの選択、またはドライバーディスプレイのメッセージの選択解除など)。

 上または下を押して、選択したアプリの機能間を移動します。

メディア音量を上げる/下げるには、 および  を押します。他に作動している機能がない場合、これらのボタンは音量コントロールの役割を果たします。

音声認識をオンにするには、 ボタンを使用します。これにより、メディア、ナビゲーションおよびエアコンディショナーなどを音声で操作できるようになります。例えば、「**Avicii の再生**」、「**温度を上げる**」、「**ヘルプ**」、「**繰り返す**」または「**キャンセル**」と発声してください。

音声認識の詳細および音声コマンドの例については、オーナーズマニュアルを参照してください。

トリップコンピューター

トリップコンピューターは、走行距離、燃費、平均速度などを計算します。ドライバーディスプレイに表示するトリップコンピューターからの情報を、選択することができます。トリップコンピューターは走行可能な距離を計算します。さまざまなオプションを表示するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してください。ドライバーディスプレイに「----」と表示されるときは、保証できる走行可能な距離が残っていないことを表します。




トリップメーターのリセット

手動トリップメーター(TM)は、左側レバースイッチの **RESET** ボタンを長押しすることにより手動でリセットすることができます。自動トリップメーター(TA)は、車両を使用しない状態が4時間続くと、自動的にリセットされます。

左側レバースイッチ

ヘッドライト機能の操作には左側レバーを使用します。

AUTO モードを使用すると、車両は車外の明暗を検知し、状況に応じて照明を調整します(日没後やトンネルに入ったときなど)。レバースイッチのコントロールダイヤルを  にすると、対向車を検知して自動的に減光されるハイビームを使用することもできます。ハイビームを手動でオンにするには、レバースイッチを奥の方へ動かします。レバースイッチを手前に動かすと、オフになります。


アクティブベンディングランプ*は、ライトがステアリングホイールの動きに追従することによりカーブや交差点で十分な明るさを確保できるように設計されています。この機能は車両を始動すると自動的に起動しますが、センターディスプレイの機能ビューでオフにすることもできます。

アブローチライト*は、キーを使用して車両をロック解除したときに車外のライトを点灯させて、暗闇でも安全に車両に近づけるようにします。


右側レバースイッチ


ワイパーブレードおよびレインセンサーの操作には右側レバーを使用します。

- ワイパーを1回だけ作動させるときは、レバーを下側に動かします。
- レバーを上側に段階的に動かすと、作動速度が間欠、通常、高速の順に切り替わります。
- 間欠速度の調節には、レバースイッチのコントロールダイヤルを使用します。
- レバースイッチをステアリングホイールの方向に動かすとウインドスクリーンウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャーが作動し、メーター・パネルの方向に動かすとリアウインドウォッシャーが作動します。

 レインセンサーボタンを押してレインセンサーをオン/オフにします。レインセンサーはウインドスクリーンに付着した水滴の量を感じて、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。レバースイッチのコントロールダイヤルを上下に回し、感度を調節します。

 リアウインドワイパーを間欠作動させるときに押します。

 リアウインドワイパーを連続作動させるときに押します。

 ワイパーブレードの交換、清掃または持ち上げ時などには、ウインドスクリーンワイパーのサービスポジションを使用します。サービスポジションを起動するには、センターディスプレイの機能ビューを使用します。





車内エアコンディショナー

空気清浄システム IAQS*

IAQS は、Clean Zone Interior Package*の一部で、車内の空気から粒子状物質、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去する全自動システムです。機能をオンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 → 温度調整 → 空気清浄度センサー** の順に選択します。

エアコンディショナー設定

車内の前部および後部のエアコンディショナー機能は、センターディスプレイ、センターコンソールのボタン、トンネルコンソールの後部で操作します。エアコンディショナー機能の中には、音声認識で操作できるものもあります。



クライメートビューへアクセスするためのアイコンは、ディスプレイの下中央にあります。Clean Zone の文字が青色で表示されている場合、車内の空気が良好な状態であることを示しています。

- **AUTO** をタップすると、目標温度に基づいて車内エアコンディショナーが全自動で調節されます。**AUTO** モードでは、ファンを5段階の自動ファン速度と **Off** および **Max** に設定することができます。
- センターディスプレイの下端にあるクライメート列でアイコンの1つをタップすると、温度、シートヒーターおよびファン速度を調節できます。

すべてのゾーンの温度を運転席側の温度と同期させるには、運転席側の温度アイコンと **温度同期** をタップします。



接続

スマートフォンなどさまざまな外部機器から、メディアやSMS/電話機能の（音声認識）操作をしたり、車両をインターネットに接続したりすることができます。接続している機器を使用するには、車両が【1】以上のイグニッション位置である必要があります。

Bluetooth 経由では、外部機器を車両に接続して、電話およびSMS の操作、メディアのストリーミング、車両のインターネット接続を行うことができます。Bluetooth 機器は同時に2台接続することができます。その場合、1台はメディアのストリーミングのみが可能です。

1. お使いの電話機で Bluetooth を有効にします。インターネットに接続するには、テザリングも有効にします。
2. センターディスプレイのホームビューで **電話** サブビューを開きます。**電話を追加** をタップします。すでに接続されている場合、**変更** をタップします。

3. 接続する電話機を選択して、ディスプレイおよび電話機の指示に従います。電話機によっては、メッセージ機能をオンにする必要があります。

Wi-Fi 経由では、車両をインターネットに接続して、車載アプリでインターネットラジオやミュージックサービスを利用したり、車内からディーラーに連絡したり、ソフトウェアをダウンロードしたりすることなどができます。

1. 携帯電話のテザリング機能をオンにします。
2. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
3. **通信 → Wi-Fi** をタップし、Wi-Fi 接続のボックスにチェックを付けてオンにします。

カーモデム経由での接続³

1. パーソナル SIM カードをトランクルーム/カーゴスペースのホルダーに挿入します。
2. トップメニューで **設定 → 通信 → カーモデムインターネット** をタップします。
3. **カーモデムインターネット** のボックスにチェックを付けてオンにします。

テザリング


車両がインターネットに接続されているときに、トップメニューの **設定** でインターネット接続を他の機器と共有することができます (Wi-Fi ホットスポット)。**通信 → 車両 Wi-Fi ホットスポット** をタップします。

USB/AUX 経由 では、外部機器を接続してメディアを再生できます。電話機で USB テザリングをオンにすると、車両をインターネットに接続することもできます。USB ポートは Apple Car Play/Android Auto に使用することもできます。

① USB および AUX 端子

- ② **12V 電源ソケット**。トランクルーム/カーゴスペースにも 12V 電源ソケットが 1 つあります。

通話の操作⁴

Bluetooth 接続の電話機による電話の発着信は、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンおよびセンターディスプレイのホームビューの **電話** サブビューを使用して行うことができます。また、音声認識を使用して電話を操作することもできます。音声認識シンボル  を押して、「Call [contact]」(「連絡先」に電話する)などと発声してください。

メディアの再生

外部機器のオーディオを再生するには、選択した方法でその機器を車両に接続し、センターディスプレイのアプリビューで **Bluetooth**、**USB**、または **AUX** アプリ (接続方法により異なる) を開く必要があります。iPod の

オーディオを再生するには、接続方法に関わらず **iPod** アプリを選択します。

Apple CarPlay/Android Auto を使用すると、電話機の一部のアプリを車両経由で使用することができ、音楽を再生したり、ポッドキャストを聞いたりすることなどができます。操作には車両のセンターディスプレイまたは電話機を使用します。

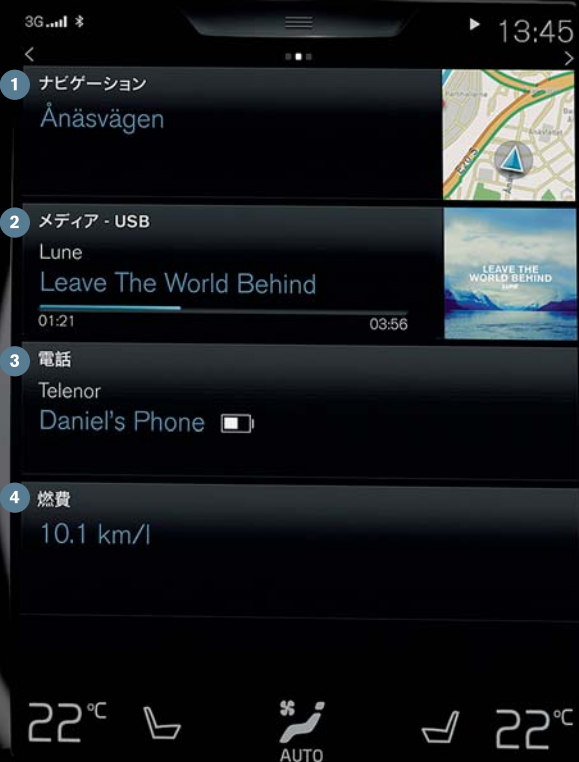
iPhone を使用する場合、Apple CarPlay を使用する前に音声認識機能の Siri をオンにする必要があります。USB ポートに接続します。複数の USB ポートが装備されている場合、白フレームのポートを使用してください。オンにするには、アプリビューで **Apple CarPlay/Android Auto** をタップしてください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの  ボタンを長押しすると、Apple CarPlay/Android Auto による音声認識がオンになります。短く押すと、車両独自の音声認識システムがオンになります。

Apple CarPlay の使用中、Bluetooth はオフになります。必要な場合、代わりの接続方法を使用してください。

³ Volvo On Call* 搭載車両のみ。カーモデムを使用して接続すると、Volvo On Call サービスはこの接続を使用します。


⁴ 車両に対応する携帯電話については、support.volvocars.com をご覧ください。



ホームビュー

センターディスプレイが起動すると、ホームビューが表示されます。ホームビューからは、ナビゲーション、メディア、電話、および最後に使用した車両機能のサブビューにアクセスできます。


- 1 **ナビゲーション** - ここをタップすると、Sensus Navigation*による地図ナビゲーションにアクセスできます。

住所で目的地を指定する -  をタップします。地図イメージが住所による検索に変わります。

地図で目的地を指定する -  で地図を最大化し、目的地を長押しします。

目的地を削除する - 目的地のアイコンをタップして、**削除** をタップします。

- 2 **メディア** - 外部機器からの音楽などが表示されます。アプリビューで **FM ラジオ** を選択した場合、こちらに表示されます。サブビューをタップすると、設定にアクセスできます。ここからは、音楽ライブラリ、インターネット対応ラジオ放送局などを表示できます。

- 3 **電話** - 電話機能へアクセスします。サブビューをタップすると拡大されます。ここでは、通話履歴または連絡先リストから電話をかけることなどができます。キーパッドを使用して番号を手で入力することもできます。番号の選択が完了したら、**発信** または  をタップします。

- 4 **最後に使用した車両機能** - ここでは、最後に使用した車両機能のうち、その他のサブビューのいずれにも表示されていないもの (**車両の状態**、**燃費** または **レン・キピンク・エイト** など) を表示できます。サブビューをタップすると、最後に使用した機能にアクセスできます。



機能ビューとアプリビュー

機能ビュー

ホームビューを左から右⁵にスワイプすると、機能ビューに移動できます。ここからは、**ヘッドアップ ディスプレイ**、**パークアシスト** および **レーン・キープ**・**エイト** などさまざまな車両機能をオン/オフにすることができます。各シンボルをタップすると、オン/オフになります。一部の機能は、別のウィンドウで開きます。

ディスプレイの下にあるホームボタンを押すと、メニューに戻ることができます。

アプリビュー

ホームビューで右から左⁵にスワイプすると、アプリビューにアクセスできます。車両に付属のアプリや、運転者ご自身がダウンロードおよびインストールを選択できるアプリが表示されます。



アプリをダウンロード、アップデートまたはアンインストールするには、アプリビューで **ダウンロード センター** をタップします。この操作を行うには、車両がインターネットに接続されている必要があります。

ダウンロード - **新アプリ** をタップして、必要なアプリを選択します。**インストール** を選択して、アプリをダウンロードします。

アップデート - すべてのアプリをアップデートするには、**全てインストール** をタップします。**アプリバージョン更新** を選択して、利用可能なアップデートのリストを表示します。必要なアプリを選択して、**インストール** をタップします。

アンインストール - **アプリバージョン更新** をタップして、必要なアプリを選択します。**アンインストール** をタップして、アプリをアンインストールします。

システムソフトウェアの検索およびアップデート

- **システム更新** をタップして、利用可能なアップデートを表示します。
- すべてのソフトウェアをアップデートするには **全てインストール** を、ソフトウェアプログラムを個別にインストールするには **インストール** をタップします。

アイコンの移動 - アプリビューおよび機能ビューに表示されている車両機能用のアプリおよびボタンは、必要に応じて移動することができます。

1. アイコンを長押しします。
2. アイコンをビュー内の任意の空きスペースまでドラッグして放します。

⁵ 左ハンドル車の場合。右ハンドル車の場合は反対方向にスワイプします。



設定



オーナーズマニュアル



プロフィール



車両状態アプリに車両情報を保存しました



助手席

再起動



Tunelnsをインストール中です



新しい位置を受信しました

Download Centre

No connection to service



CLEANZONE[®]

20°C



AUTO



22°C

トップビュー

ディスプレイの上部には、下方向にドラッグすることでトップビューを表示できるタブがあります。トップビューでは、**設定**、**オーナーズマニュアル**、**プロフィール** および車両の保存済みメッセージにアクセスすることができます。

個人設定

運転者はセンターディスプレイの外観や表示情報の変更など、さまざまな個人設定を **設定 → My Car** で設定することができます。

リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け

各キーは **設定 → システム → ドライバープロフィール** で1つの運転者プロフィールに関連付けることができます。運転者プロフィールを1つ選択します(キーをプロフィール **ゲスト** に関連付けることはできません)。ホームビューが再表示されます。トップビューを下方向に再度ドラッグし、上記の指示に従って操作を繰り返し、選択したプロフィールで**編集**を選択してから **キー接続** を選択します。関連付けられているキーを使用すると、ディスプレイ、ミラー、フロントシート、ナビゲーション*、オーディオおよびメディアシステム、言語および音声認識などの特定の要件⁶ に合わせて車両が調節されます。

Individual ドライブモード*

Comfort、**Eco**、**Dynamic**、**Off Road** ドライブモードの1つに独自の変更を加えたい場合、**設定 → ドライブモード** でそのドライブモードを有効にします。設定が完了したら、トンネルコンソールでドライブモードから **Individual** を選択します。

システム音量

システムサウンドの音量(キーボードおよびタッチ音など)を調節する/オフにする場合、**設定 → 音声 → システム音量** の順に移動します。

⁶ 個人用設定/グローバル設定の区別については、オーナーズマニュアルを参照してください。



運転者サポート

ボルボ車には運転者の安全運転を支援して事故を予防できる多くの機能が搭載されています。これらの機能はセンターディスプレイの機能ビューでオンにすることができます。運転者サポート機能は補助機能に過ぎません。いかなる場合でも、車両を安全に運転する責任は全面的に運転者にあります。

City Safety

City Safety⁷ は、運転者に障害物を警告灯と警告音で知らせます。衝突の危険が迫っているときに運転者が適切な時間内に反応しないと、車両に自動的にブレーキがかかります。City Safety は、例えば、車両、大型動物、歩行者またはサイクリストとの衝突の危険がある場合に、衝突の回避や運転者の支援ができます。City Safety は、エンジン始動時に自動的に起動します。

Gross Traffic Alert (CTA)*



CTA は、リバースギヤが選択されているとき、または車両が後退しているときに、車両後方の左右から近づいてくる車両について警告します。

Blind Spot Information (BLIS)*



BLIS は、死角にある車両や、左右の車線から急接近してくる車両について知らせます。

Lane Keeping Aid (LKA)*



車両が車線境界線を越えそうになると、レーンアシストの LKA が車両を車線内に戻す操作を積極的に支援します。運転者は警告音またはステアリングホイールの振動により警告されることもあります。

車線から逸脱した場合の LKA の警告方法に関する設定は、センターディスプレイのトップビューの **設定** で行います。My Car → IntelliSafe → **レーン・アシスタンス** を選択します。ここでは、道路から逸脱する危険があるときにさらなる支援を行う Run-off Mitigation*をオン/オフにす

ることもできます。その場合、車両のステアリング操作とブレーキ操作が自動的に行われます。

Pilot Assist

Pilot Assist は、車両を車線内に維持し、前方の車両との車間距離をあらかじめ設定された距離に維持するよう支援します。

Pilot Assist の選択および起動には、左側のステアリングリモコンを使用します。ステアリングアシストが機能するには、運転者が両手をステアリングホイールに置いていることや、車線境界線が視認できることなどが必要です。

ステアリングアシストが作動しているときには、ドライバーディスプレイに緑色のステアリングホイールシンボルが表示されます。

⁷ 一部の市場では利用できません。



パークアシスト

Park Assist Pilot*

パークアシスト・パイロットは利用可能な駐車スペースをスキャンし、車両を操舵してスペース内に誘導します。運転者は車両周辺に注意しながら、センターディスプレイの指示に従ってギヤの選択、速度の制御、ブレーキ/停止の操作を行います。

Park Assist Pilot による駐車



1. 機能ビューの **駐車スペースに入れる** ボタンをタップします。20 km/h 以下の速度で走行してください。駐車スペースを探しているときは車両と駐車スペースとの間に約 1 m の距離が必要です。
2. 適切な駐車スペースが見つかったことを示す画像およびテキストがセンターディスプレイに表示されたら、停車します。ポップアップウィンドウが表示されます。
3. センターディスプレイに表示される指示に従います。センターディスプレイの情報で停車を指示されたときにすぐに停車できるように備えておきます。

駐車スペースから出る

この機能は縦列駐車をした車両にのみ使用できます。



1. 機能ビューの **駐車スペースから出る** ボタンをタップします。
2. センターディスプレイに表示される指示に従います。

パークアシスト・カメラ*



パークアシスト・カメラは、カメラの画像とセンターディスプレイのグラフィックを使用して、車両周辺の障害物を監視し、運転者を支援します。カメラ画像およびガイドラインはセンターディスプレイで選択します。パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択したときに自動的に起動させることができます。この設定は、センターディスプレイのトップビューの **設定** で行います。

– My Car → パークアシスト → リバースカメラ自動起動 を選択します。

パークアシスト・カメラは手動で起動することもできます。

- 機能ビューの **カメラ** アイコンをタップして機能をオン/オフにします。



さらにクリーンに走る喜びを

走行前の準備を整え、燃料効率のよい運転をすると、燃料消費量を低減できると同時に、大気中に排出する二酸化炭素およびその他の汚染物質の量も低減できます。これにより、運転者は環境への影響を低減するとともに、燃料費を節約することもできます。運転者自身が影響を与えることのできる要因もあれば、そうではない要因もあります。以下はいくつかのヒントです。

必ず以下のことを実行して、運転の準備をしてください。

- 計画的に走行してください。何度も不必要に停止したり、走行速度にばらつきがあると、燃料消費量が増加します。

燃料効率のよい運転をするには：

- **Eco** ドライブモードをオンにします。エネルギー効率の高い走行向けに車両が調整されます。
- 無用なアイドリングを避けます。長時間停車するときは、エンジンを停止してください。
- 一定速度で走行し、他の車両や障害物との距離を十分に確保して、ブレーキ操作を最小限に抑えます。
- 適切なタイヤ空気圧で走行し、定期的にタイヤ空気圧を点検します。ECO タイヤ空気圧を選択すると、最良の結果が得られます。
- 走行中はウインドを閉めておきます。

運転者が影響を与えることのできない要因

- 交通状況
- 道路の状態および地形
- 外気温および向かい風

特別なメッセージ

オーナーズマニュアルおよびその他のマニュアルには、安全に関するインストラクションが含まれています。必ずすべての警告、重要情報、注意事項をお読みください。一部の機能は、特定の市場でのみご利用いただけます。



警告

はじめに

Sensus Navigation*: つねに道路状況に目を配り、走行に集中してください。交通法規を順守し、確かな状況判断で運転してください。道路条件および気象条件により、一部の推奨情報については信頼性が低下するおそれがあります。

エクステリア概要

開閉時に挟み込まれることがないように十分ご注意ください。深刻な被害をもたらすことがあるため、開閉前にはテールゲートの側に人がいないことを確認してください。テールゲートの操作は、つねに慎重に行ってください。

インテリア概要

車両に助手席側エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグはつねに作動可能な状態です。エアバッグが作動可能な状態のときは、絶対にお子様を助手席のブースタクション、チャイルドシートまたは後ろ向き装着のチャイルドシートに座らせないでください。助手席側エアバッグが作動可能な状態のときは、身長が140 cm未満の乗員を助手席に絶対に座らせないでください。助手席側エアバッグの作動を解除している場合は、身長が140 cm以上の乗員を助手席に絶対に座らせないでください。ルーフコンソールにエアバッグ非作動のメッセージが表示され、ドライバードisplayのエアバッグシステム警告灯も点灯しているときは、絶対に助手席に誰も座らせないでください。重大な故障が発生しているおそれがあります。すみやかに、サービス工場で点検を受けてください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

インテリア概要

車両から離れる際は、必ずリモートコントロールキーを携帯し、車両がイグニッションモード0 になっていることを確認してください。

インテリア概要

坂道に駐車する際には、必ずパーキングブレーキを使用してください。オートマチック車両では、ギヤまたは P に入れておくだけでは不十分な場合があります。

リアシートのバックレストを倒す

バックレストを調節した場合は、正しくロックされていることを確認してください。ヘッドレストを調節した場合は、正しくロックされていることを確認してください。3 列目シート*に乗員を乗せる場合には、必ず2 列目ドア側シートのヘッドレストを起こす必要があります。

ステアリングホイール

音声認識車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。

車内エアコンディショナー

温度の上昇を感じることができない方やシートヒーターのコントロールを操作できない方は、シートヒーター*を使用しないようにしてください。火傷を負うおそれがあります。

運転者サポート

BLIS および CTA は、安全運転を補助するための機能で、ドアミラーに代わるものではありません。また、運転者の判断や責任に代わって代わるものではありません。車線変更時や後退時の安全確認は、つねに運転者の責任です。BLIS は、急カーブの走行時や後退時には機能しません。

運転者サポート

レーンアシスト LKA および Run-off 温度は支援機能に過ぎません。走行状況や交通、天候、路面の状態などにより作動しないことがあります。安全運転を行い、適用されている法律や交通規則に従う責任は、つねに運転者にあります。この機能は路肩にある防護柵、欄干などの障害物を検知することができます。

運転者サポート

City Safety は支援機能に過ぎません。走行状況や交通、天候、路面の状態などにより作動し

ない場合があります。この機能は、あらゆる状況ですべての歩行者やサイクリストを検知できるわけではありません。衝突の危険が高くなったときにのみ、警告が出ます。歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 70 km/h (43 mph) を超えると解除されます。City Safety 用オートブレーキ機能は、衝突事故を回避、または衝突速度を低下させることができます。ブレーキの全性能を十分に発揮できるように、たとえば車両にオートブレーキがかかっている場合でも、運転者はブレーキペダルを踏み込むようにしてください。走行中に適切な車間距離や速度を維持することは運転者の責任です。

運転者サポート

Pilot Assist は支援機能に過ぎません。すべての交通状況、天候および路面の状態に対応できるものではありません。車両の運転方法における責任はつねに運転者にあり、Pilot Assist が適切な速度や車間距離、またはステアリングアシストを提供しない場合は、介入する必要があります。Pilot Assist は車線の左右どちらかの路面に明確な車線境界線が塗装されている場合にのみ使用できます。Pilot Assist は人物、動物、障害物、小型/低車高のトラレー、対向車、低速で走行するまたは停止している車両に対してはブレーキをかけません。Pilot Assist は、市街地、ジャンクション、曲がりくねった道路、悪天候条件下などでは使用しないでください。

パークアシスト

Park Assist Pilot はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。車両を安全に運転し、駐車中、周囲の状況や接近または通過する他の道路使用者に注意を払う最終責任はつねに運転者にあります。

パークアシスト

パーキングカメラは補助装置であり、運転者の責任にとって代わるものではありません。カメラには死角があり、すべての物体を感知することはできません。車両のそばに人間やペットなどいる場合がありますので、十分にご注意ください。



重要

インテリア概要

トラレーコネクターのないトラレーを接続して走行しているときは、OFF ROAD ドライブモードを使用しないでください。この指示に従わないと、エアベロスを損傷する可能性があります。

インテリア概要

ヘッドアップディスプレイユニット*はメーター・パネルに配置されています。このユニットから情報が映し出されます。ディスプレイユニットのカバーガラスの損傷を防止するため、カバーガラスの上にはなにも置かないでください。また、カバーガラスに物を落とさないように注意してください。

センターディスプレイ

センターディスプレイのクリーニングに使用するマイクロファイバークロスに、砂などが付着していないことを確認してください。砂などによってスクリーンに傷がつくおそれがあります。センターディスプレイを清掃する場合、ディスプレイを強く押さないように注意してください。強い力がかかること、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

センターディスプレイには液体または腐食性の化学薬品を直接スプレーしないでください。ウインドクリーナー、その他の洗淨剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤入りの洗淨剤は使用しないでください。研磨布、ペーパータオルまたはティッシュペーパーは絶対に使用しないでください。センターディスプレイに傷がつくおそれがあります。

リアシートのバックレストを倒す

リアシートに物がなく、だれも座っていないことを確認してください。また、シートベルトも接続しないでください。センターシートのインテグレートド・チャイルド・クッション/アームレスト*は格納位置にしておく必要があります。

右側レバースイッチ

ワイパーブレードをサービスポジションにする前に、凍結していないことを確認してください。サービスポジションのワイパーアームがウイン

ドスクリーンから起こしてある場合には、ワイパーを始動する前に、ウインドスクリーンの方に倒して元の位置に戻してください。これは、ボンネットの塗装に傷を付けないようにするためです。

車内エアコンディショナー

車内温度が低すぎる場合、シートベンチレーションを作動させることはできません。シートに座っている乗員が冷えないようにするためです。

接続

トンネルコンソールの 12V 電源ソケットのひとつのみを使用する場合、電源ソケットの最大出力は 10A (120W) です。トンネルコンソールの両方の電源ソケットを同時に使用する場合には、各電源ソケットに 7.5A (90W) の制限が適用されます。トランクルーム/カーゴスペースの 12V 電源ソケットの最大出力は 10A (120W) です。200V 電源ソケットの最大出力は、150W です。



注意

エクステリア概要

電磁場および電磁遮蔽は、リモートコントロールキーの機能を妨げるおそれがあります。リモートコントロールキーを金属物や電子機器(携帯電話機、タブレット、ノートパソコン、充電器など)の近くに保管することは避けてください。必ず 10~15 cm 以上離れた場所に保管してください。

エクステリア概要

パワーテールゲート：システムが長時間継続して作動していた場合には、過重負担を避けるためオフになります。約 2 分が経過すると、再び使用可能になります。リアバンパーに大量の水、雪、汚れなどが付着していると、機能が低下したり、まったく動作しなくなったりすることがあります。このため、つねにきれいな状態に保つようにしてください。

インテリア概要

外気温度に関わらず、冷間時の始動後はアイドリングスピードが高くなります。これは、ボルボの高効率エミッションシステムによるものです。一部のディーゼルエンジンでは、暖機によって冷間始動に遅延が発生する場合があります。

インテリア概要

Forward Collision Warning* がオンになると、ヘッドアップディスプレイの情報が Forward Collision Warning* のグラフィック表示に変更されます。このグラフィックは、ヘッドアップディスプレイがオフの場合でも点灯します。偏光サングラスを着用している場合、シート中央に座っていない場合、ディスプレイユニットのカバーガラスに物が置かれている場合、光条件が適切ではない場合などには、ヘッドアップディスプレイが見えにくくなります。

視覚障害をお持ちの場合、ヘッドアップディスプレイの使用中に頭痛やストレスを感じることがあります。

ステアリングホイール

走行方法が変わった場合には、走行距離の計算に誤差が生じる場合があります。

車内エアコンディショナー

希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。

接続

データはインターネット使用時に転送され(データ通信)、費用が発生する場合があります。データローミングおよび Wi-Fi ホットスポットを有効にすると、追加費用が発生する場合があります。データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。携帯電話を使用してダウンロードする際は、データのダウンロードにかかる費用に注意してください。

接続

ボルボは、Apple CarPlay/Android Auto アプリのコンテンツは確認しません。Apple CarPlay は、Bluetooth が無効になっているときにのみ使用できます。したがって、Bluetooth で車両に接続されている電話またはメディアプレーヤーは、CarPlay/Android Auto の使用中には利用できなくなります。車両を接続するには、Wi-Fi または車載モデム*を使用してください。

接続

電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、ペアリングが中断される場合があります。この場合、いったん車両から電話を削除し、ペアリングをやり直してください。

接続

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなどに)に影響をおよぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響をおよぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断の方が適切な場合があります。

接続

車両との接続が切断されると、一部の電話機はデザリングがオフになります。したがって、次の使用時には電話機のデザリングを再度有効にする必要があります。

パークアシスト

もっとも効率的に作動するように、カメラのレンズに泥や雪、氷が付着していないように気をつけてください。これは暗いときには特に重要です。

